

2012年「消費税しらべ」報告

【調査の概要】

日本生協連では、毎月の家計データを全国集計している「全国生計費調査」とは別に、家庭で負担している消費税の調査（年間集計）を行っています。2012年は、36生協の678世帯（有効回答数）にご協力いただきました。

本調査は、生協組合員一人ひとりが一年間の家計簿を見直し、消費支出から非課税部分（家賃や学校教育費など）を差し引いて税額を算出したものです。

この報告では、主な収入を「給与・賞与」と回答した世帯（以下、「給与所得世帯」とよぶ）と「年金」と回答した世帯（以下「年金世帯」とよぶ）を区分けしています。また月々の収入と年収をあわせて提供いただいているため、所得階層別の集計もしています。

特 徴

1. 1世帯あたりの年間消費税額は平均168,991円。2011年まで徐々に減少していましたが、わずかに増加に転じました。
2. 収入に占める割合では、年収400万円未満世帯は1,000万円以上世帯の1.66倍の消費税負担となっています。低収入世帯ほど負担率が高いという「逆進性」がみられます。

「2012年 消費税しらべ」集計数値

1. 調査世帯全体

年収帯	件数	世帯主年齢	家族数	実収入計	消費支出計	非課税支出	消費税	負担率
400万円未満	145件	65.2	2.4	3,102,975	2,731,634	493,593	106,573	3.43%
400～599万円	186件	58.2	3.1	4,929,025	3,701,832	748,043	140,657	2.85%
600～799万円	140件	49.6	3.6	6,926,185	4,438,111	944,660	166,355	2.40%
800～999万円	124件	50.8	3.7	8,972,747	5,963,948	1,406,711	217,011	2.42%
1000万円以上	83件	53.0	3.9	13,222,123	7,468,141	1,709,130	274,239	2.07%
全 体	678件	55.9	3.3	6,705,683	4,521,163	972,344	168,991	2.52%

2. 給与所得世帯

年収帯	件数	世帯主年齢	家族数	実収入計	消費支出計	非課税支出	消費税	負担率
400万円未満	37件	51.5	2.9	2,964,930	2,441,574	467,347	94,011	3.17%
400～599万円	98件	48.1	3.4	5,052,747	3,848,759	948,225	138,121	2.73%
600～799万円	118件	46.7	3.8	6,924,384	4,498,560	980,639	167,520	2.42%
800～999万円	120件	50.2	3.7	8,975,403	6,019,174	1,407,117	219,622	2.45%
1000万以上	78件	52.2	4.0	13,093,627	7,616,061	1,768,603	278,450	2.13%
全 体	451件	49.3	3.7	7,805,544	5,132,373	1,181,238	188,149	2.41%

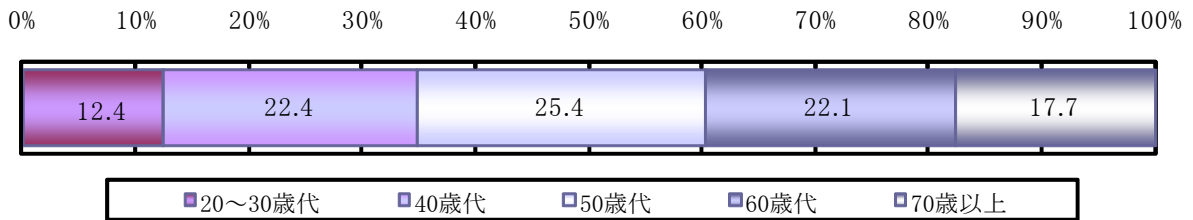
3. 年金世帯

年収帯	件数	世帯主年齢	家族数	実収入計	消費支出計	非課税支出	消費税	負担率
400万円未満	101件	70.9	2.1	3,183,928	2,865,910	504,289	112,458	3.53%
400～599万円	77件	71.9	2.6	4,791,944	3,539,165	539,536	142,839	2.98%
600～799万円	16件	70.9	2.4	6,936,511	3,986,194	678,762	157,497	2.27%
800～999万円	3件	70.7	2.3	8,880,739	3,651,454	1,583,225	98,487	1.11%
1000万以上	4件	66.3	2.3	15,803,632	4,703,672	974,174	177,595	1.12%
全 体	201件	71.2	2.3	4,434,813	3,261,297	557,134	128,770	2.90%

① 36 生協 678 世帯が参加しました。

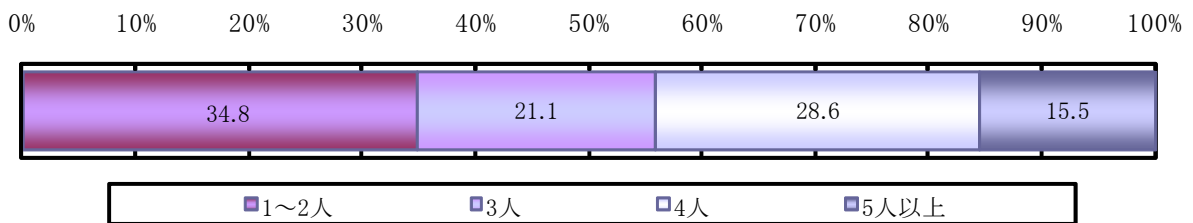
② 世帯主平均年齢は 55.9 歳です。 2011 年に比べて 0.9 歳高くなっています。

世帯主の年代



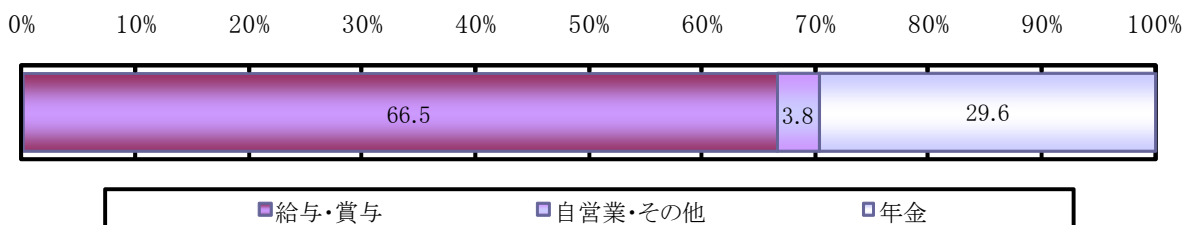
③ 平均家族人数は 3.3 人。 2011 年と同じです。

家族人数



④ 各世帯の主な収入は、2011 年に比べ給与所得世帯の割合が 1.3%減り、年金世帯が 0.4%増えています。

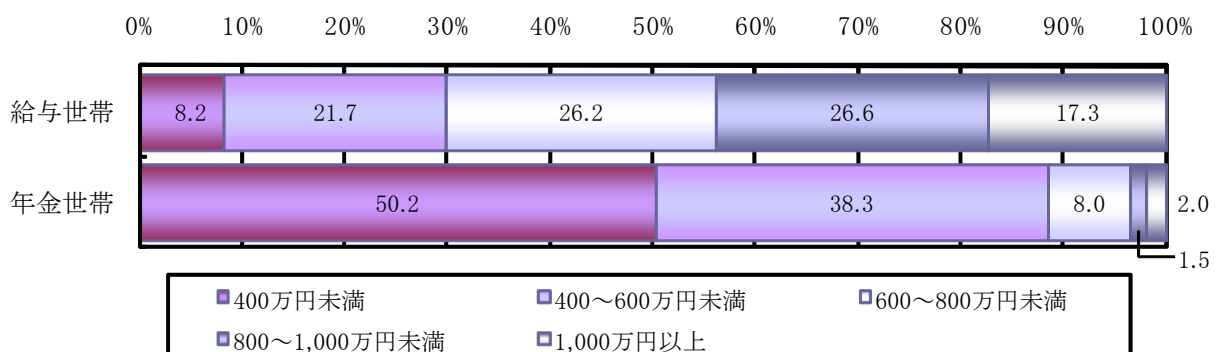
主な収入



⑤ 平均年収は、給与所得世帯では 781 万円、年金世帯では 443 万円となっています。

2011 年に比べて給与所得世帯の年収は約 5 万円増、年金世帯は約 9 万円減少しています。

年 収

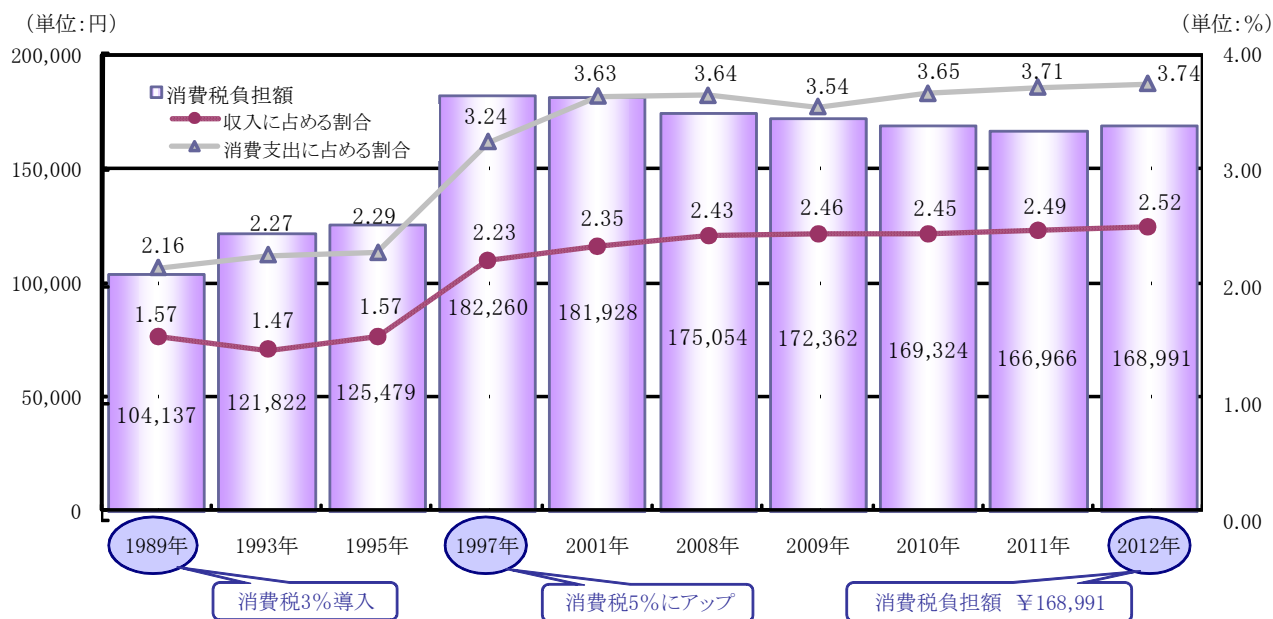


2. 消費税負担の状況

① 1世帯あたりの年間消費税額は平均168,991円。2011年まで徐々に減少していましたが、わずかに増加に転じました。

2012年の年間消費税負担額は、提出世帯全体平均で168,991円。収入に占める割合は2.52%、消費支出に占める割合は3.74%で、金額、割合ともにわずかながら増加しています。ここ数年、収入と消費支出はともに減少傾向でしたが、今回、消費支出のみ増加しました。

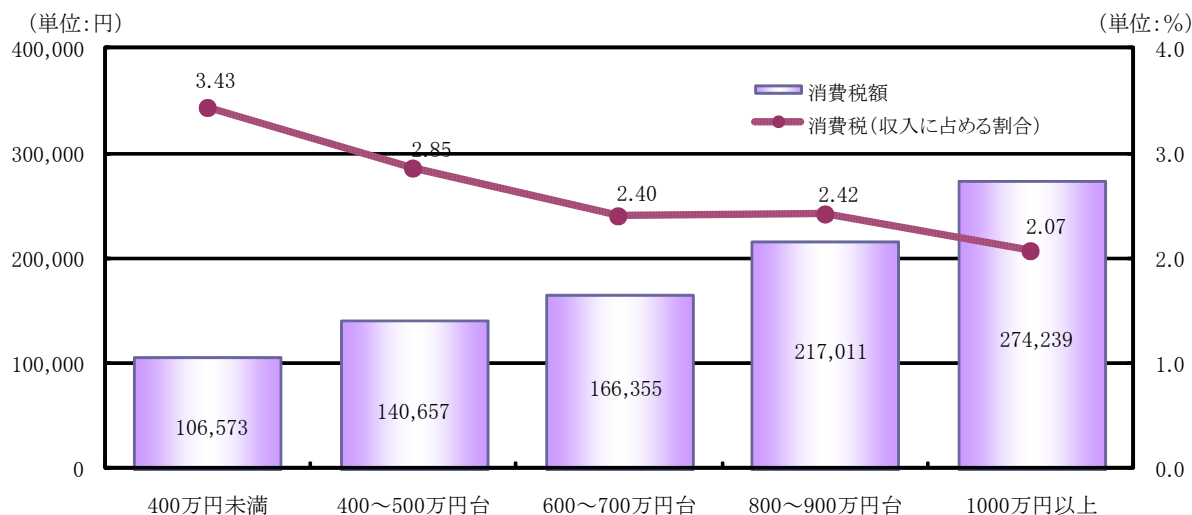
消費税の税額と家計に占める割合の推移（調査世帯全体）



② 収入に占める割合では、年収400万円未満世帯は1,000万円以上世帯の1.66倍の消費税負担となっています。低収入世帯ほど負担率が高いという「逆進性」がみられます。

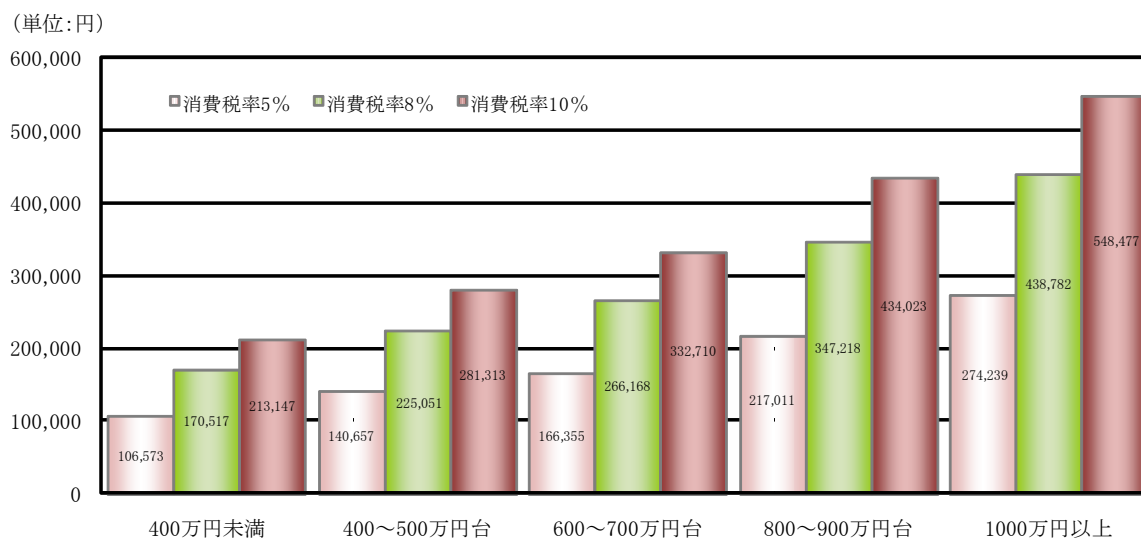
所得階層別にみると、年収に占める負担割合は400万円未満の世帯で3.43%と高く、1,000万円以上世帯の2.07%の1.66倍という負担率となっています。低収入世帯ほど負担率の高い状況が続いています。

所得階層別の消費税負担額と収入に占める割合（調査世帯全体）



現在 5%の消費税率は、2014 年 4 月に 8%、2015 年 10 月には 10%へと、2段階で引き上げられる計画があります。低所得者により重い負担を強いる消費税の増税については、消費者が購入する生活必需品などにかかる消費税の増税分に見合う額を支給するなどの低所得者対策が検討されているようです。仮に所得に関係なく一律に増税された場合をシミュレーションしてみると、収入に占める消費税の割合負担構造は変わりません。

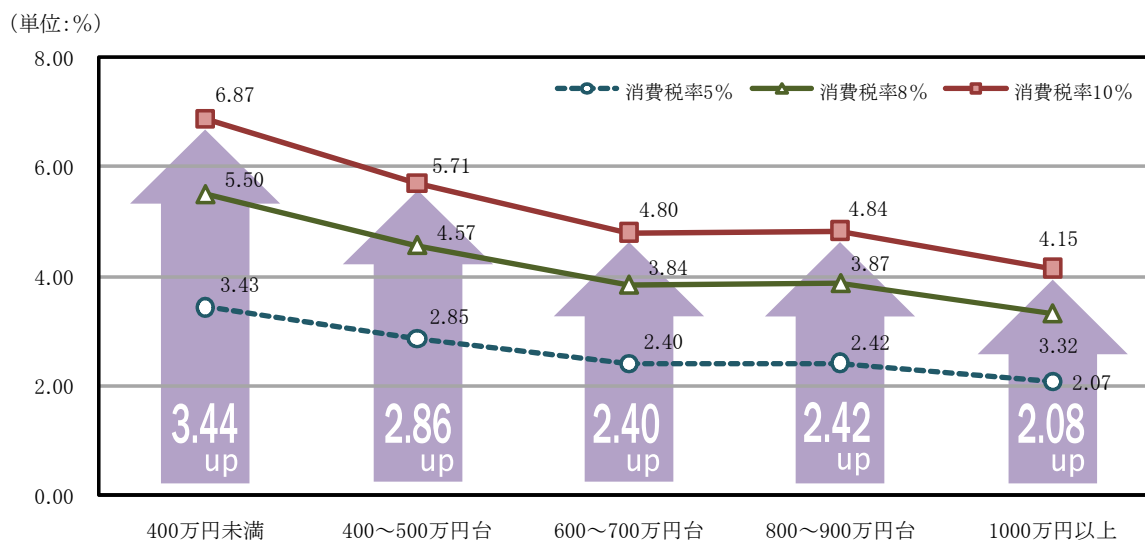
消費税率が5%、8%、10%の場合の所得階層別の消費税負担額（調査世帯全体）



＜シミュレーションの計算式＞
 8%の消費税額 = 2012年度の消費税額 × 8 ÷ 5
 10%の消費税額 = 2012年度の消費税額 × 10 ÷ 5

負担する消費税額のみをみると、所得が低いほど負担額の増加は緩やかですが、収入に占める消費税の割合では、年収 400 万円未満の世帯で、消費税率 5%時には 3.43%である負担率が 10%時には 6.87%と 3.44 ポイントのアップとなります。一方、年収 1,000 万円以上の世帯では負担率のアップは 2.08 ポイントにとどまります。

消費税率が5%、8%、10%の場合の所得階層別の収入に占める消費税の割合（調査世帯全体）



※ ↑ 内の数値 = 消費税率 10%時の収入に占める消費税の割合 - 消費税率 5%時の収入に占める消費税の割合